

プリントネット株式会社

決算説明資料

2026年8月期第2四半期



目次

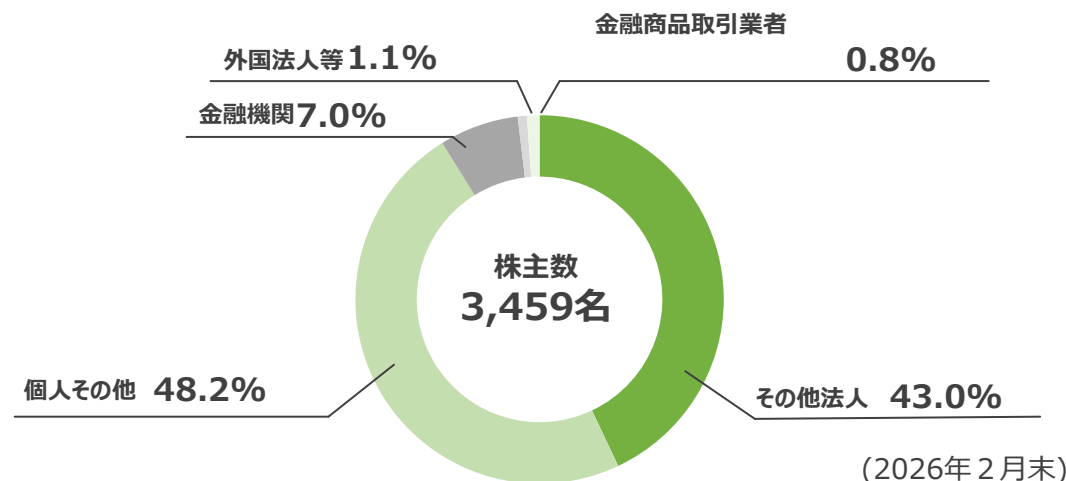
1. 当社概要と事業内容
2. 2026年8月期 第2四半期決算報告と通期計画
3. 今後のビジョン

目次

1. 当社概要と事業内容
2. 2026年8月期 第2四半期決算報告と通期計画
3. 今後のビジョン

商号	プリントネット株式会社 (東証STD上場:7805) PRINTNET INC.
設立	1987年7月設立 2008年2月プリントネット株式会社社名変更
事業内容	インターネット印刷通信販売事業
本社所在地	鹿児島県鹿児島市城南町10番7号
資本金	815百万円 (株主数 3,459名) (2026年2月末日現在)
従業員数	254名 (他パート等57名) (2026年2月末日現在)
役員	代表取締役CEO小田原 洋一 / 取締役COO 小田原 一誠 社外取締役(監査等委員) 佐藤 清一 / 社外取締役(監査等委員) 大久保 範俊 社外取締役(監査等委員) 上釜 明大
拠点工場	本社・カスタマーセンター (鹿児島県鹿児島市)、東京西第一工場 (山梨県上野原市) 東京西第二工場 (山梨県上野原市)、九州工場 (鹿児島県始良市)

所有株式数 構成



© 2026 Printnet Inc.



代表取締役CEO
小田原 洋一

- 1985年9月 当社 入社
- 1987年7月 当社 取締役就任
- 2005年11月 当社 代表取締役社長 就任
- 2025年11月 当社 代表取締役CEO 就任(現任)

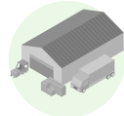
社是

「謙虚な心で皆様と共に進む」



企業価値の拡大に向けた中期戦略の4本柱

1 成長への設備投資



2 人材育成投資



3 サービス・サポート体制強化



4 ESG対応



2005年

- 印刷通販
自社サイト開設

2008年

- 東京西工場
操業開始

2014年

- 東京西第二工場
操業開始

2018年

- ジャスダック上場
プリントプロ
サービス開始

2019年

- 九州工場移転

2024年

- プrintnet
ウェアサービス
開始

2025年

- 名古屋証券
取引所
重複上場

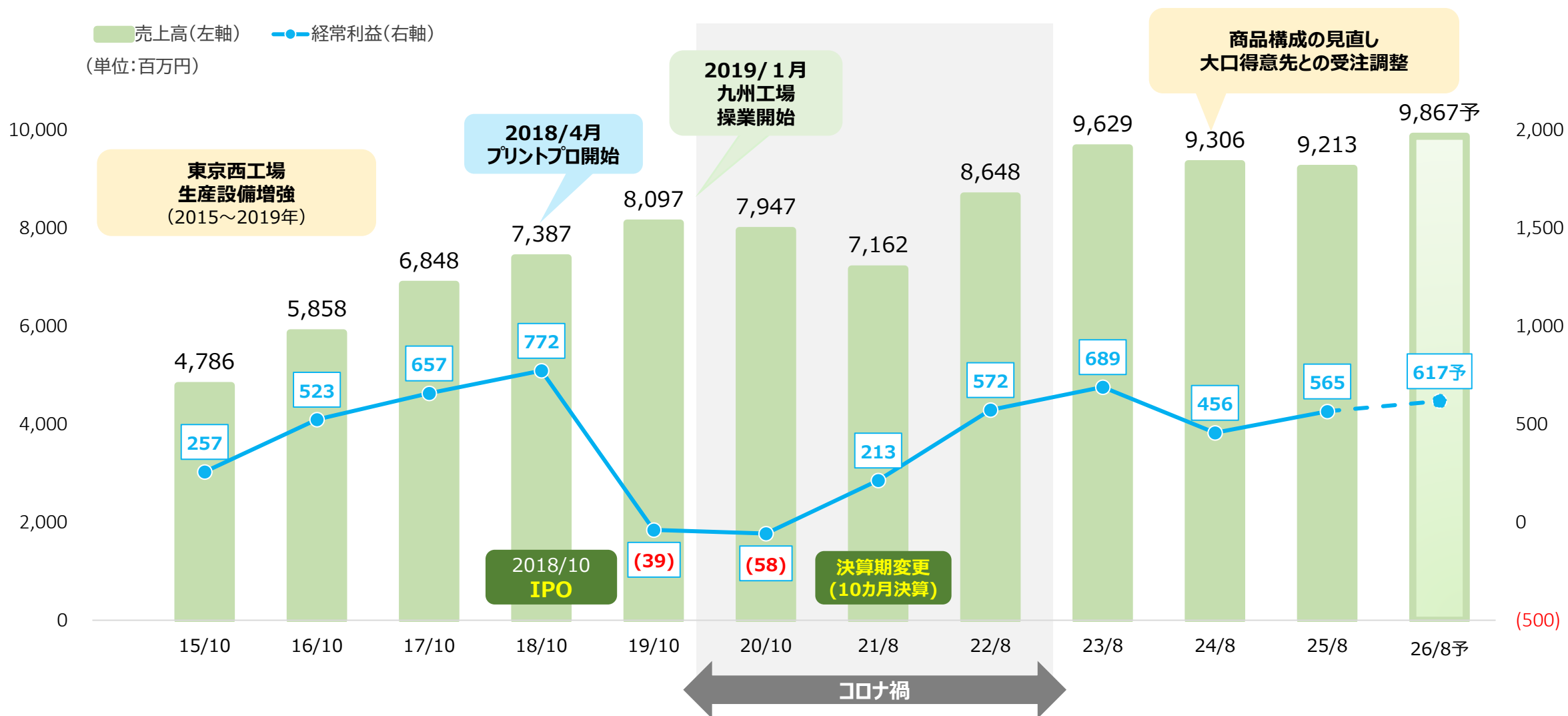
2026年

- 九州第二工場
稼働予定

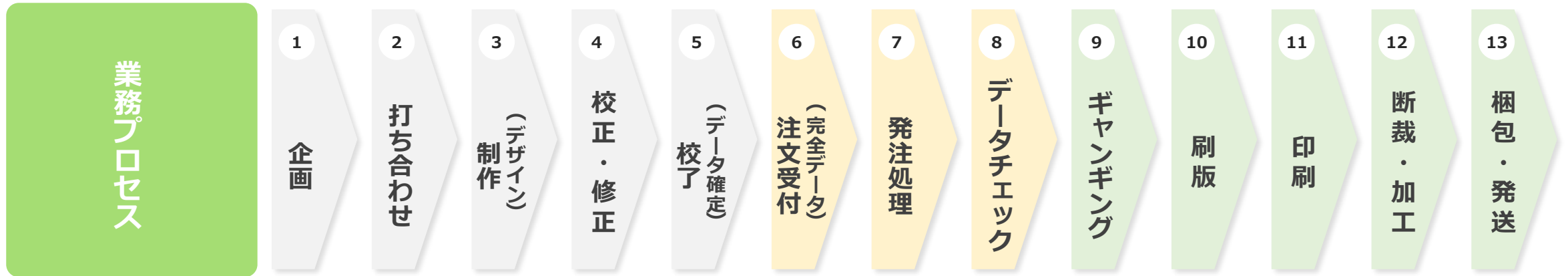
中期経営計画
2030年

- 売上 122億円
- 営業利益 10億円

- 2023年売上高が過去最高を達成、資材高騰の影響を受け、売上高より利益率重視へ方針転換
- 次期成長を見据え**2026年操業開始に向けた九州第二工場（仮称）増設へ**



- 従来型の印刷事業と異なり、印刷工程のみに特化することで、高品質の印刷物を低価格で提供している
 なお、プリントプロでは⑥、⑦、⑧の工程も完全自動化することで、更に低価格での提供を実現している



- インターネットで受注し、日本全国へ納品



提供サービス



サービス/応対力重視の顧客



価格重視の顧客(業界最安値級)

自社の強み

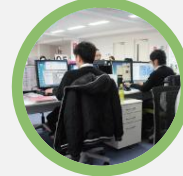
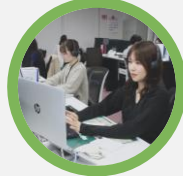
安心 = 低価格・高品質

利便性 = ネット発注

丁寧 = カスタマーサポート

信頼 = 品質と納期

受注～梱包までのフロー



目次

1. 当社概要と事業内容
2. 2026年8月期 第2四半期決算報告と通期計画
3. 今後のビジョン

- 売上高は計画を下回ったものの、営業利益は前期比26.5%の増益
- 採算性の良い売上受注を優先し、粗利率が23.7%

(単位：百万円)	2025年8月期 2Q実績	2026年8月期 2Q実績	2026年8月期 通期計画	増減率 (対前期比)	増減率 (対通期計画)
売上高	4,497	4,574	9,867	+1.7%	46.4%
営業利益	252	319	620	+26.5%	51.5%
経常利益	253	320	617	+26.2%	51.9%
中間（当期） 純利益	232	216	373	▲7.0%	57.9%
1株当たり 中間（当期） 純利益	48円13銭	44円71銭	77円22銭	▲7.1%	57.9%

(単位：百万円)	2026年8月期 2Q決算			備考
	実績	前年実績	増減率 (%)	
売上高	4,574	4,497	+1.7%	大口以外の得意先の印刷売上高 3,247百万円 大口得意先の印刷売上高 1,266百万円
売上原価	3,491	3,493	▲0.1%	
売上総利益	1,083	1,004	+7.9%	粗利率1.4ポイント改善
販売費及び 一般管理費	763	751	+1.6%	
営業利益	319	252	+26.5%	
経常利益	320	253	+26.2%	
中間純利益	216	232	▲7.0%	

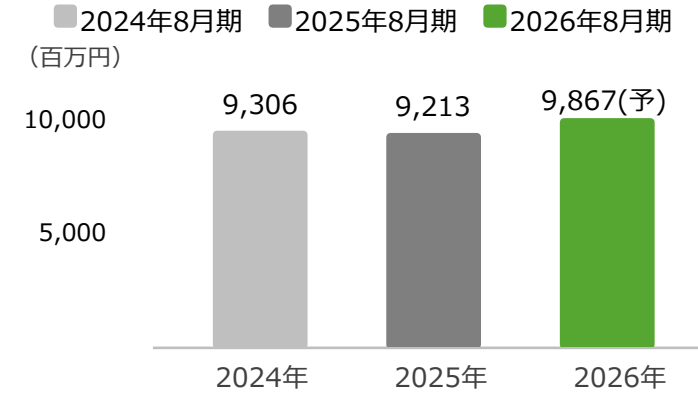
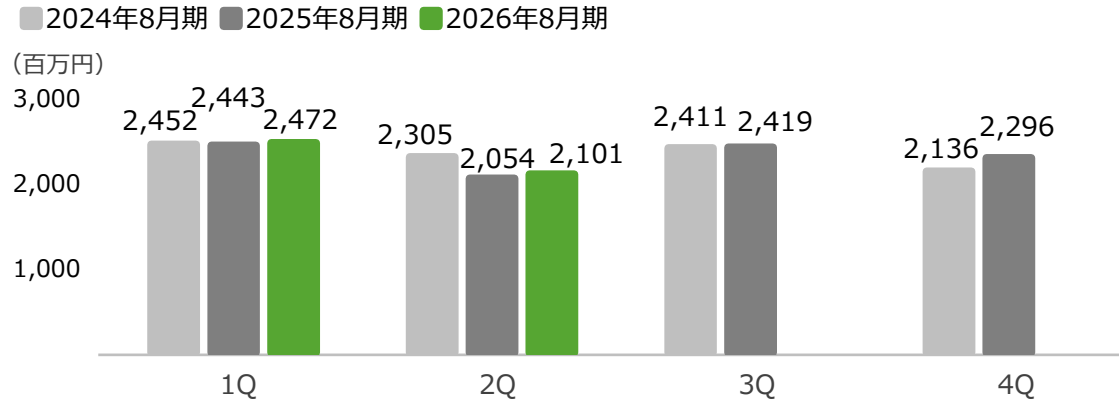
* 大口得意先：代理店契約を締結している取引先

- 売上高は1・2Qともに微増であるが、営業利益は前期比で増益と順調に推移

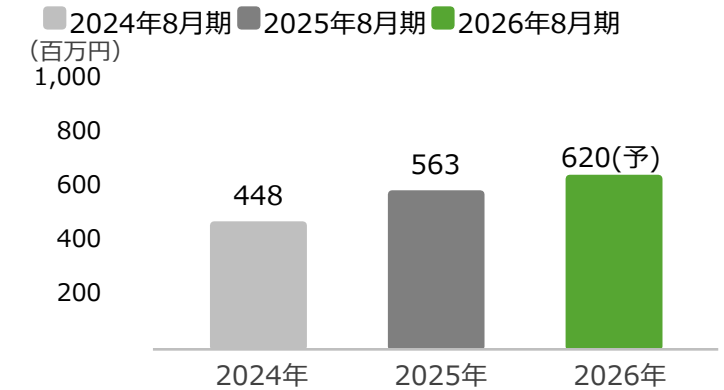
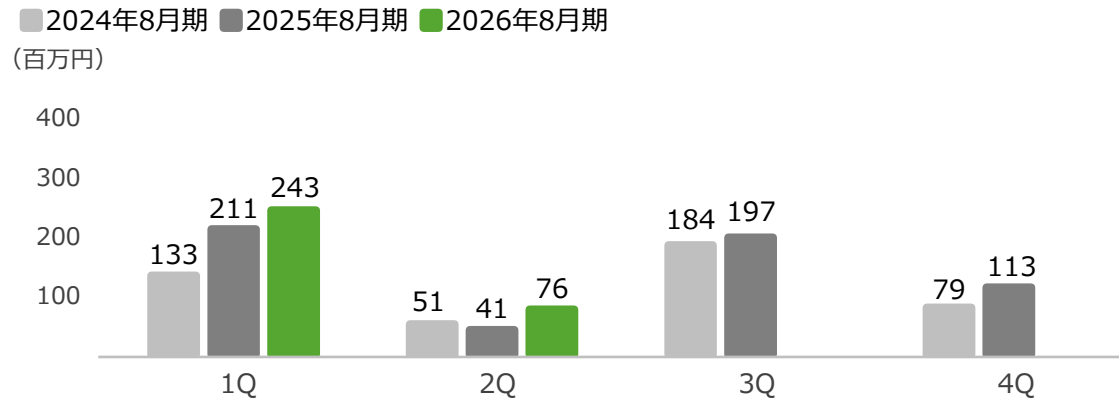
四半期

期末累計

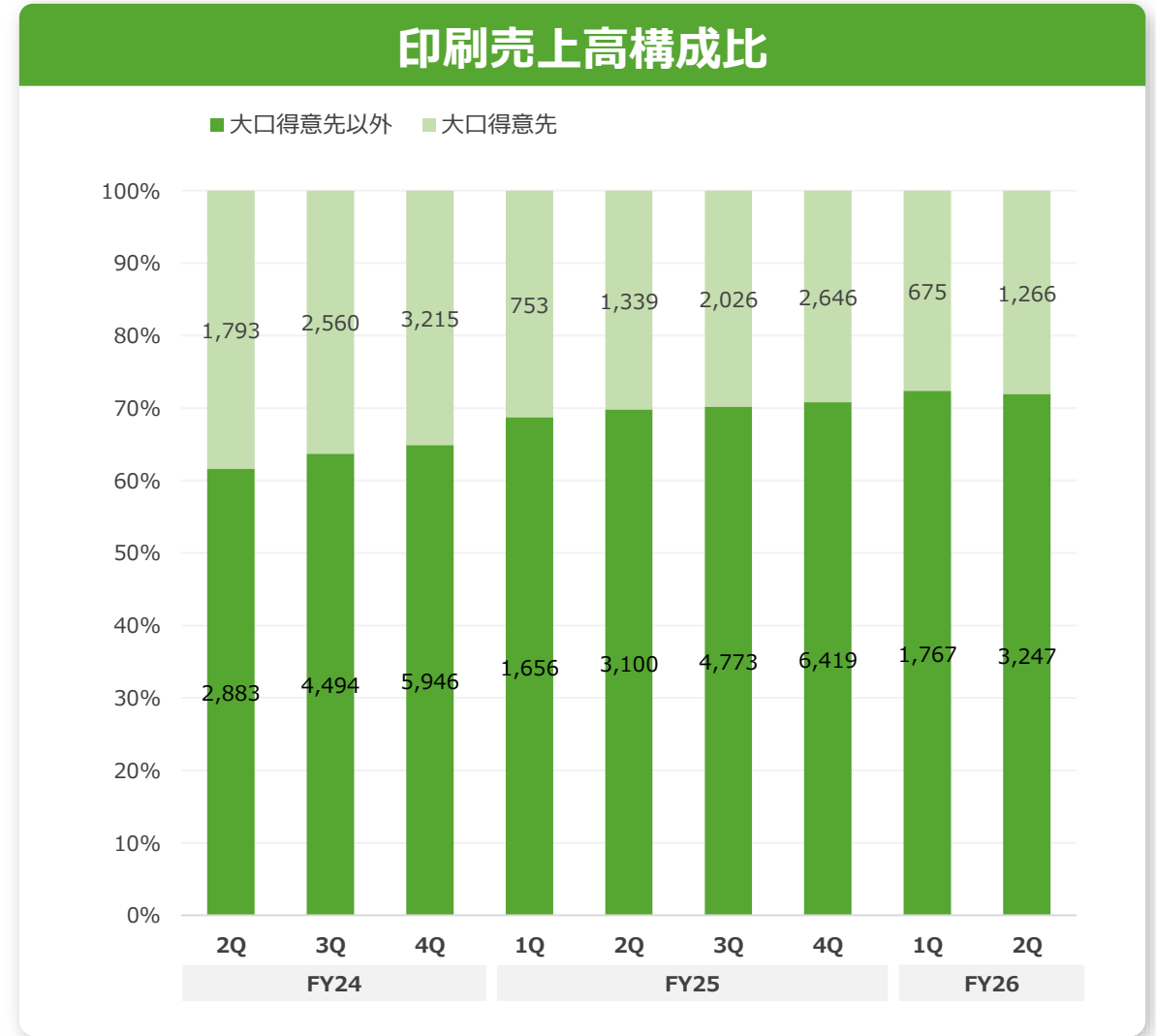
売上高



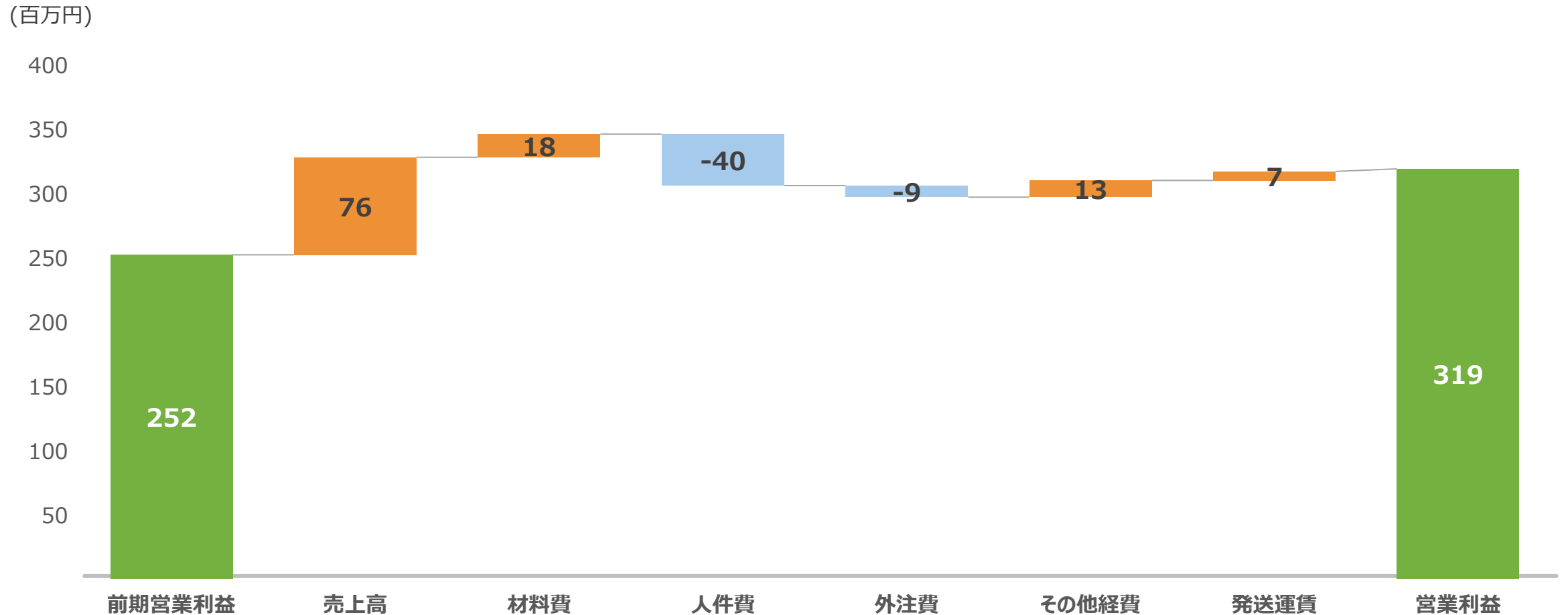
営業利益



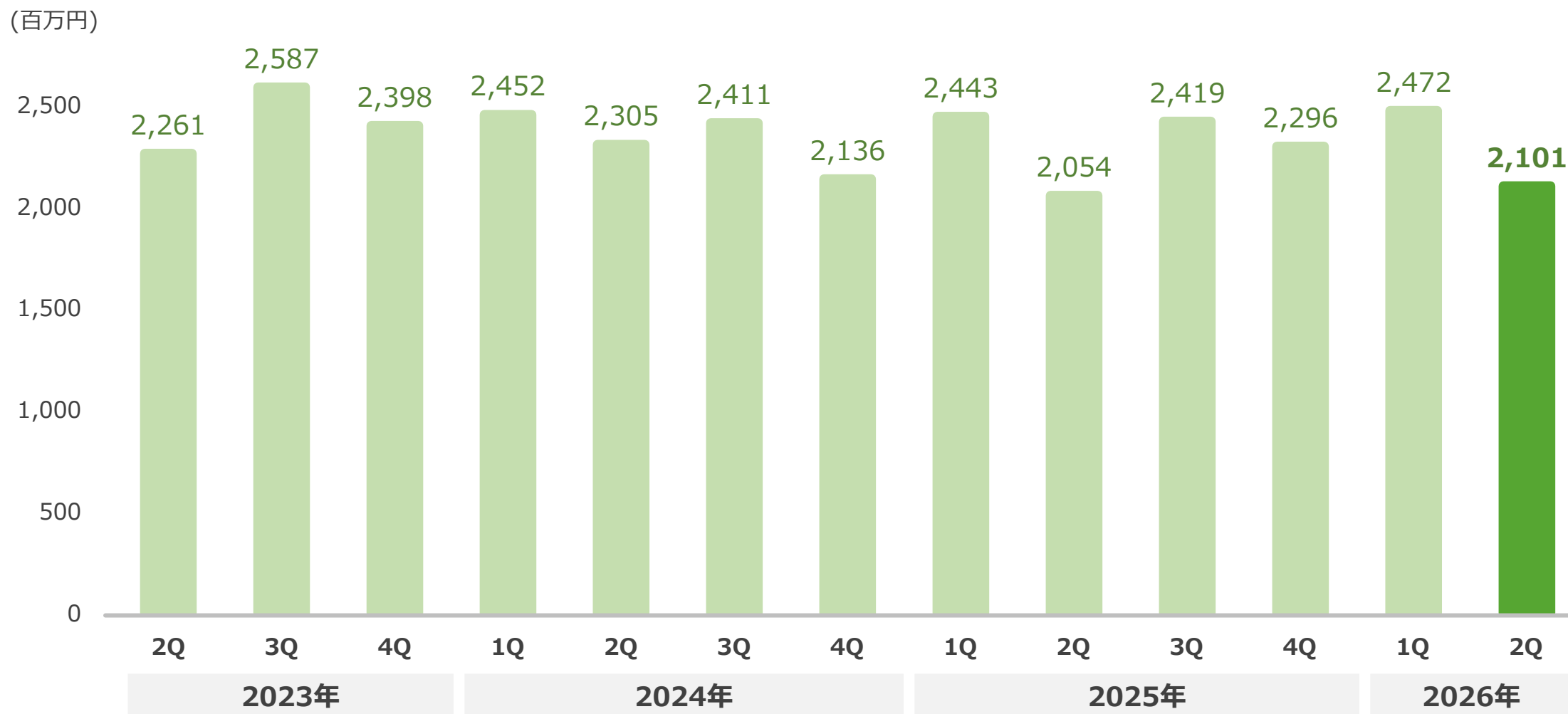
- 戦略的に大口得意先以外の売上高構成比を高めたことにより、粗利率は通期で前年比1.4ポイント改善



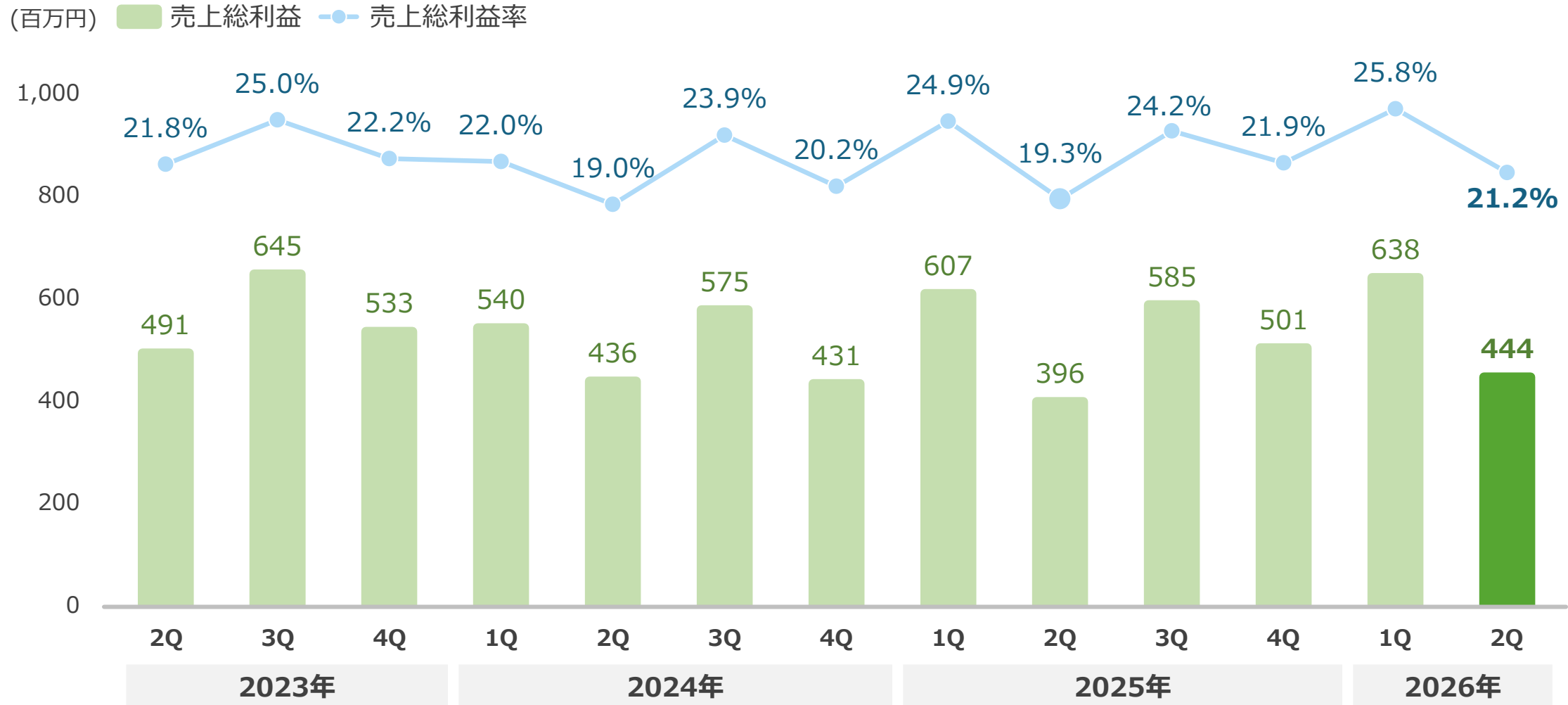
- 売上高は前期比1.7%増収に加え、採算性の良い売上の受注に注力したことにより、粗利率が改善し、営業利益では前期比26.5%増益を達成



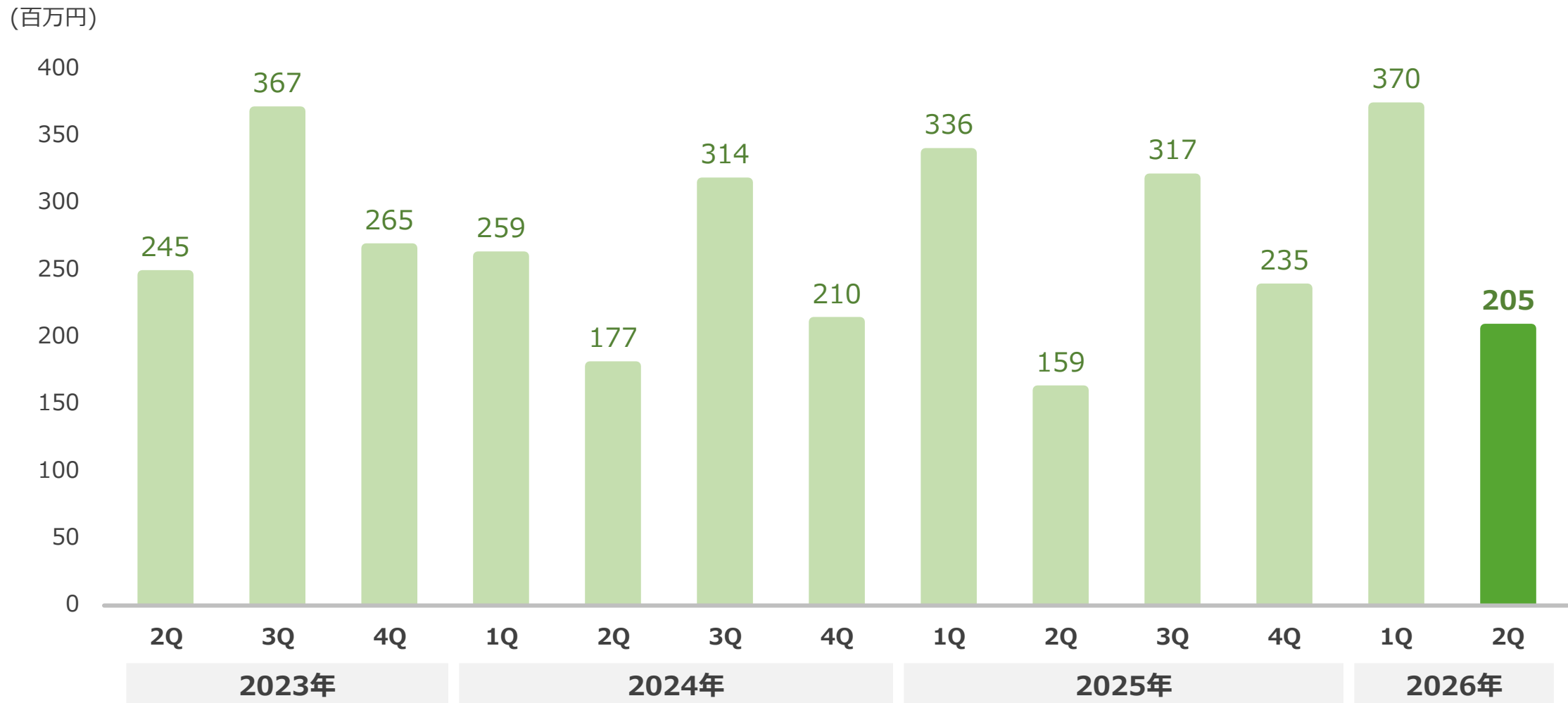
- 大口得意先の印刷売上高が前期比▲73百万円と減少したものの、大口以外の得意先の売上高が前期比+147百万円と増加したことで、印刷売上高合計についても増加



- 売上高より利益率を重視する方針に転換したため、各四半期の売上総利益率は好調に推移



- 営業利益増加によりEBITDAも累計で前期比+15.9%増で575百万円となった



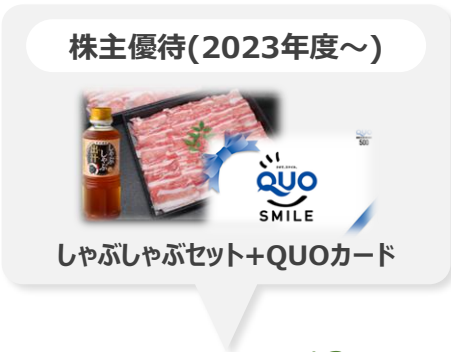
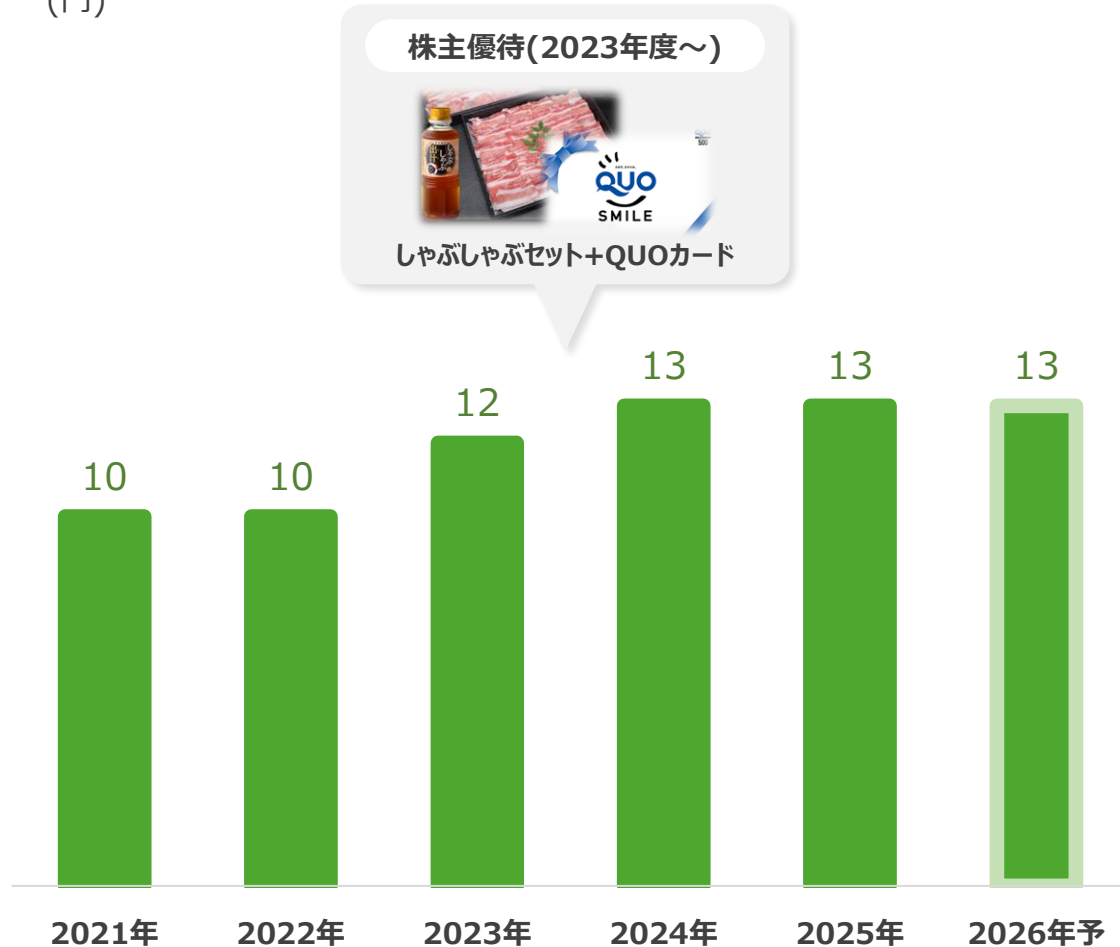
- 今期計画は、前期比で7.1%の売上増と、10.2%の営業利益の増額を計画
- 当期純利益については前期に保険解約返戻金があったため減少となる見通し
- 粗利率改善の継続推進と、九州第二工場（仮称）の投資を本格開始

(単位：百万円)	2025年8月期 実績	2026年8月期 通期予想	増減率 (対前事業年度)
売上高	9,213	9,867	+7.1%
営業利益	563	620	+10.2%
経常利益	565	617	+9.1%
当期純利益	433	373	▲13.8%
1株当たり 当期純利益	89円58銭	77円22銭	-

- 株主優待をQUOカードから便利なデジタルギフト®へ変更
- 今期の配当金に関しては、更なる成長投資を実施する中で前期実績の13円を維持

〈 1株当たりの年間配当金 〉

(円)



〈 株主優待の詳細 〉

株主優待(2025年度)

QUOカードからデジタルギフト®へ変更

保有株数	デジタルギフト	黒豚しゃぶしゃぶセット約1kg	デジタルギフト	黒豚しゃぶしゃぶセット約1kg
1,000株以上	○ (5,000円)	○	○ (6,000円)	○
500株以上	○ (2,500円)	-	○ (3,000円)	-
200株以上	○ (1,000円)	-	○ (1,500円)	-
100株以上	○ (500円)	-	○ (1,000円)	-

保有期間: 1年未満 | 1年以上(注1) | 長期保有

(注1) 毎年2月末日及び8月末日の当社株主名簿に同一株主番号で3回以上連続して記載または記録されていることと定めさせていただきます。
 なお、保有期間の判定については、2025年8月末日(基準日)から過去に遡って行います。
 デジタルギフトはQUOカードpayを含みます。

目次

1. 当社概要と事業内容
2. 2026年8月期 第2四半期決算報告と通期計画
3. 今後のビジョン

- ・展示会へ出展することで、全国の印刷業者様、広告代理店様へ**プリントネットの強みを広く、認知**してもらおう

〈プリントネットの強み〉

1

ネット印刷の利便性

(データ入稿→納品まで一貫体制)

2

コスト最適化への貢献

(自社設備、地場印刷からの切り替え)

3

品質・納期の安定性

(基準品質で期日に納品される
製造管理の仕組み)

4

充実したサポート体制

(競合他社との差別化)

〈主な出展予定の展示会〉

期間

2026年4月15日(水)～17日(金)

2026年5月20日(水)～22日(金)

2026年5月21日(木)～22日(金)

展示会名



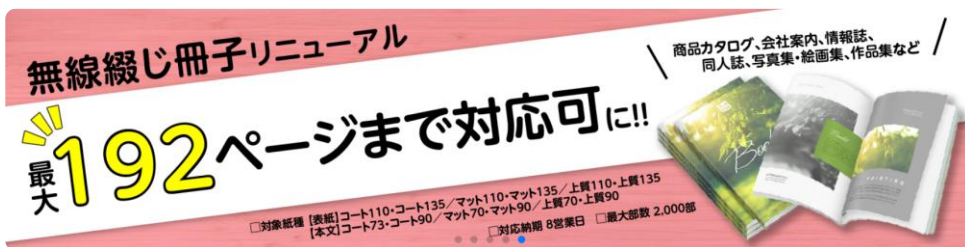
• BtoB、BtoC顧客の双方にとって利便性の高いプラットフォーム化を進めていく

- 紙媒体を中心とした印刷サービスの拡充
- スポーツ団体向け印刷サービスの拡充
- 無料デザインアプリ対応で入稿から納品までの利便性向上
- 隠れたニーズの掘り出し

● スポーツ団体需要向けにタオル印刷受注開始



● 製本可能ページ数を拡大



● ユーザの商品化されていないニーズをくみ取る訴求



● 無料デザインアプリへのデータ入稿対応



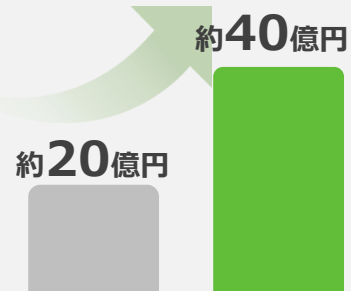
- 需要増に対応した製造キャパの拡大が主目的であるが、先進設備の導入による生産性の向上とコスト削減効果も大きい成長投資

成長投資

投資総額 **35億円**

影響額

〈 製造キャパ 〉



〈 資材コスト 〉

年間約**3,000万円**
以上の削減を見込む



※2026年3月14日時点



本資料は、2026年8月期2Q決算に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2026年2月末日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。